

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
33204	スイーツ実習 Pastry Cooking	大林 映美子		専門	2	選択	1.2年後期
科目の概要							
スイーツ実習を通してお菓子作りの基礎的な技術と材料の知識を修得し、デモンストレーションを見学後、少人数のグループで協力し合って作品を完成して、実習後は、各自で感想や要点を書き込んだクッキングノートを作成し提出する。基本を学んだ後、各自の創意工夫によりオリジナルレシピを作成して、デコレーションケーキを製作できるようにする。フードスペシャリストに必要な知識や技術を修得し、職場や家庭で活用することを目標としている。							
学修内容				到達目標			
① スイーツの基礎（計量、スポンジの焼きなど）について理解する。 ② グループで実習を行い、協力して作品を完成する。 ③ スイーツプレートにセンスを生かした盛り付けができるようになる ことを目的とする。 ④ 毎回の実習メニューを理解し、ノートに感想などを作成する。 ⑤ 基本的な事が理解でき、スポンジケーキが焼けるようになる。				① デモンストレーションどおりに作る事で基礎技術を修得することができる。 ② グループで協力してスイーツを規定時間内に完成させることができる。 ③ スイーツに合わせた器に盛り付けができる。 ④ 実習の詳細を書き込みオリジナルなレシピ、クッキングノートを作成することができる。 ⑤ オリジナル性のあるデコレーションケーキを完成させることができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	指示がなくても自ら計量や器材の準備ができる。技術習得のために自ら練習をすることができる。スイーツを美しく見せるための感性を磨くための取り組みができる。					
	働きかけ力	作品を仕上げるために、声掛けして作業を分担して助け合うことができる。					
	実行力	作品を時間内に仕上げるために、手順や方法を考えて進めることができる。自分で決めた課題に最後まで取り組むことができる。					
考え抜く力	課題発見力	作品を完成させるために、どのような準備をすべきかを的確に把握できる。参考資料を収集することができる。					
	計画力	グループで作成するときの、担当を決め時間内に完成させるように進めることができる。実技試験の作品の段取りや材料の準備を考えて時間内に終えることができる。					
	創造力	オリジナルの盛付けや飾り付けができる。グループで作品を仕上げるときに、どのようにしたら美味しく仕上がるか、美しく仕上がるか意見を言うことができる。					
チームで働く力	発信力	グループで作品を仕上げるときに、どのようにしたら美味しく仕上がるか、美しく仕上がるか意見を言うことができる。					
	傾聴力	グループで作品を仕上げるときに、どのようにしたら美味しく仕上がるか、美しく仕上がるか意見を言うことができる。					
	柔軟性	グループで作品を仕上げるときに、自分の意見を持ちながら相手の意見も取り入れて作品を完成させることができる。					
	状況把握力	グループの状況を見て協力し合ってスイーツを時間内に完成することができる。					
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力	技術面でうまくできなくても、みんなと相談して次に進むことができる。					
テキスト及び参考文献							
テキスト：なし プリントを配付 実習材料費；7000円 参考文献：なし							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：フードクリエイティブユニットの科目 資格との関連：なし							
学修上の助言				受講生とのルール			
・ 毎回の授業までに課題のメニューを見て実習に臨む。 ・ 日頃から感性を高めるためにデザインや色彩に関心を持つ。				・ 指定された白衣、三角巾を着用し身なりを整える。 ・ 積み重ねの授業なので欠席しないようにしてほしい。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①					
				②					
				③					
				④					
				⑤					
	平常評価	小テスト		0	①				
					②				
					③				
					④				
					⑤				
		レポート		0	①				
					②				
					③				
					④				
					⑤				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		90	①	✓			・実技試験の時に下準備がしっかりできている。 ・今までの実習の効果が活かされている。 ・色彩・デザイン性が工夫されている。 ・実習を通して手順・ポイント・コツなどがかきこんでオリジナルノートの完成ができている。 ・作品の完成度が美しく、デザインに工夫が見られる。
					②	✓			
					③	✓			
					④	✓			
					⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓			・受講態度が悪い場合は減点する（規律性） *学習意欲欠如、課題や提出物の未提出 ・指示がなくても自ら計量や器材の準備ができる（主体性） ・グループで協力し時間内に作品を完成させる（実行力） ・オリジナルの飾り付けや作品ができる（創造力） ・白衣・三角巾を着用し衛生面に配慮をして実習を行うことができる。 *白衣、三角巾を忘れた場合は減点する。 実習中は、グループメンバーとのコミュニケーションをとり積極的に参加できている（発信力）（傾聴力）（状況把握力）	
				②	✓				
				③	✓				
				④	✓				
				⑤					
総合評価割合			100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・実習の下準備を自主的に行うことができる。 ・実技試験に対し真剣に取り組み、今までの技術応用 ・創造性を取り入れたオリジナルの作品の完成度。 ・クッキングノート作成にあたり、スイーツのイメージや実習の感想が詳細に記入してあること。 Sは、13回の作品が理解と実習ができ、今までの技術が活かされたオリジナルの実技試験ができクッキングノートに詳細に書き込んでいる。	・実習中は、グループメンバーとのコミュニケーションをとり、積極的に実習に取り組み作品を完成させることができる。 ・実習中、知識や技術の取得に前向きで、デモンストレーションの技術の一つでも取得することができる。 ・クッキングノートに必要な事項が記入されている。 C実技試験でスポンジが焼けて、デコレーションが完成できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	・オリエンテーション 授業の進め方、実習にあたっての説明、シラバスの説明	講義	シラバスの内容を読み理解する。実習に必要なものを準備できる	白衣・三角巾の準備 実習に使う器材を調べる。	180	主体性 傾聴力
2	・バターケーキの製法の違い バターの扱い方で同じ材料を使用して出来上がりの違いをマドレーヌで学ぶ	実習（グループワーク） 実習した事をノートに作成してフィードバックする。	計量ができ、ハンドミキサーの使い方とバターの扱い方が理解でき、マドレーヌが作れる	（予習）ゼラチンについて調べておく。 （復習）クッキングノートをまとめる。	180	主体性 状況把握力 規律性
3	・ゲル化剤の違い 動物系と植物系のゲル化剤でゼリー等を作り、違いを学ぶ	実習（グループワーク） 実習した事をノートに作成してフィードバックする。	ゼラチンのもどし方、ゲル剤の種類の理解ができ、ゼリーが作れる。	（予習）生クリームの種類を調べておく。 （復習）クッキングノートをまとめる。	180	主体性 状況把握力 規律性
4	・生クリームの扱い方 動物性、植物性の生クリームの扱い方や味の違いをムース等を作って比較する	実習（グループワーク） 実習した事をノートに作成してフィードバックする。	生クリームの乳脂肪の違いを知り、泡立て方が理解でき、ムースを作ることができる。	（予習）ハンドミキサーの使い方を調べておく。（復習）クッキングノートをまとめる。	180	主体性 状況把握力 規律性
5	・スポンジケーキの基本と巻き方 スポンジケーキの作り方とコツを学び、ロールケーキで実習する	実習（グループワーク） 実習した事をノートに作成してフィードバックする。	ハンドミキサーでスポンジ生地を泡立て基準が理解でき、粉合わせ、型への流し方までできる。	（予習）ドライフルーツを調べる。 （復習）クッキングノートをまとめる。	180	主体性 状況把握力 規律性
6	・バターケーキにフルーツを加えた時の比重の関係 生地の混ぜ方、詰め方の重要性をパウンドケーキで学ぶ	実習（グループワーク） 実習した事をノートに作成してフィードバックする。	スポンジケーキとバターケーキの製法の違いが理解でき、バターケーキが焼ける。	（予習）タルト型の種類を調べる。 （復習）クッキングノートをまとめる。	180	主体性 状況把握力 規律性
7	・タルト生地の作り方 タルト型に生地の敷き方、焼き方をフルーツタルトで学ぶ	実習（グループワーク） 実習した事をノートに作成してフィードバックする。	タルト生地の型の敷き方を学びタルトが焼ける。フルーツがタルトに合わせた大きさにバランスを考えカットでき飾れる	（予習）シュークリームとエクレアの違いを調べておく。 （復習）クッキングノートをまとめる。	180	主体性 状況把握力 規律性
8	・卵の扱い方・卵黄と卵白について シュークリーム、エクレアで生地の固さの重要性和焼成の重要性を学ぶ	実習（グループワーク） 実習した事をノートに作成してフィードバックする。	シュークリームで生地のカタさが理解でき、それぞれの形に絞ることができる。	（予習）芋の種類を調べる。 （復習）クッキングノートをまとめる。	180	主体性 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	・日本のお菓子 芋の種類と特徴を学び スイートポテトを作る	実習（グループワーク） 実習した事をノートに 作成してフィードバックする。	芋の扱い方が理解でき、芋と他の材料をうまく合わせてスイートポテトが作れる。	（予習）チーズの種類を調べる。（復習）クッキングノートをまとめる。	180	主体性 状況把握力
10	・チーズケーキの種類と製法 ベイクドチーズケーキとスフレタイプの違いを学びレアチーズケーキも実習する。	実習（グループワーク） 実習した事をノートに 作成してフィードバックする。	実習（グループワーク） 実習した事をノートに 作成してフィードバックする。	（予習）クッキーの型を決める。（復習）クッキングノートをまとめる。	180	主体性 状況把握力 規律性
11	・クッキーの製法について 製法の違いと絞りの技術とクッキーの種類を学ぶ	実習（グループワーク） 実習した事をノートに 作成してフィードバックする。	クッキー三種のうちのどれかを作ることができる。	（予習）配色とデザインを考える。（復習）クッキングノートをまとめる。	180	主体性 状況把握力 規律性
12	・クリスマスのアイシングクッキー クッキーにアイシングのアレンジと絞りの技術を学び、オリジナルアイシングクッキーを製作する	実習（グループワーク） 実習した事をノートに 作成してフィードバックする。	アイシングの配色を考え作品を完成できる。	（予習）パイの製法を調べる。（復習）クッキングノートをまとめる。	180	主体性 状況把握力 規律性
13	・パイ生地の手折りたたみ方 アメリカンタイプとフレンチタイプの違いをアップルパイで学ぶ	実習（グループワーク） 実習した事をノートに 作成してフィードバックする。	パイ生地の手折りたたみができる。	（予習）チョコレート種類の調べる。（復習）クッキングノートをまとめる。	180	主体性 状況把握力 規律性
14	・チョコレートについて チョコレートの種類と扱い方をガドールショコラで学ぶ	実習（グループワーク） 実習した事をノートに 作成してフィードバックする。	チョコレートの特徴と扱い方を理解している。	（予習）デコレーションのデザインを考える。（復習）クッキングノートをまとめる。	180	主体性 状況把握力 規律性
15	・今までの学んだ知識と技術を使ってオリジナルのデコレーションケーキを一人ずつ作成します。	実習テスト（個人）	スポンジケーキ18cmが焼ける	（復習）クッキングノートをまとめる。	180	主体性 計画力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力